Clean Technology

AQUA RECYCLE×ECOLOGY Reco

『あらゆる洗浄の課題』をアクアが解決します

水溶性洗浄	水溶性洗剤の再生利用が可能になります	洗剤リサイクル装置　FMD-Loop
	水だけで完全脱脂が可能になります	シャワー洗浄装置　超熱水洗浄
炭化水素洗浄	非引火性の炭化水素溶剤という新たな選択肢	水溶性・鉱油系対応溶剤　ソルベントD200W
	低価格でハイスペックな炭化水素洗浄装置	真空洗浄装置　コンセプトV・TETRA
環境・コスト削減	炭化水素溶剤ガスを回収して再利用します	炭化水素溶剤ガス回収器　RECO
	プレス加工オイルを変更して洗浄レス化	洗浄不要プレスオイル　アクアプレス

クリーンテクノロジー創造企業　AQUA アクア化学株式会社
〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3―7―24 TEL.0725-53-5510 FAX.0725-53-5520
詳細・資料請求は当社 HP にて! http://www.aqua-c.com

AQUAタイ法人《製造・販売・洗浄試験・装置メンテナンス》
販売会社：AQUA CHEMICAL ASIA CO.,LTD
製造会社：AQUA CHEMICAL TECHNOLOGY CO.,LTD
150/78Moo9.Tambon Nongkham.Amphur Sriracha.Chonburi 20110.Thailand

2014洗浄総合展
会　期：10月15日(水)～17日(金)
会　場：東京ビッグサイト
小間番号：W―062

２０１４洗浄総合展　開幕迫る

未来を支える洗浄技術

15日から17日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで「2014洗浄総合展」が開催される。日本洗浄技能開発協会（JWA）、日本産業洗浄協議会（JICC）、日刊工業新聞社の共催。2年に一度開催し、今回で16回目を迎える。洗浄は高精細な電子部品からインフラを支える下水道まで幅広い業界で必要な分野。環境への対応が求められ、各企業は環境負荷を低減した製品を多数生み出している。129社・団体が271小間を出展し、洗浄機器だけでなく洗浄剤の回収機器、検査機器などの関連製品の情報を発信する。開催時間は10―17時。入場料は1000円、事前登録者・招待券持参者は無料。

洗浄総合展は「未来を支える洗浄技術」をテーマに、多様な分野で活用される洗浄技術・製品を紹介する。高圧洗浄機・装置、高圧下水管洗浄車、蒸気洗浄機、スプレー洗浄機、乾燥機器・装置、洗浄剤、濾過装置・フィルターや送排風機などの周辺機器、管路・水質調査や保護具などの検査・測定機器などが集結。工場で使われる洗浄機器・装置から次世代自動車・ナノテクノロジーなどに求められる最先端技術が展示される。

展示会場は社会のニーズに沿ったテーマを、来場者に分かりやすいようゾーンに分けて展開する。「新分野ゾーン」は最先端の分野に適した洗浄技術、「半導体洗浄超純水ゾーン」は主に半導体向け超純水・純水技術、「医療機器用洗浄ゾーン」は医療に関する装置・関連機器の技術、「食品産業用洗浄ゾーン」は食品に関する装置・関連機器の技術、「安全ゾーン」は高圧洗浄や洗浄作業を行う際の安全対策技術、「大気汚染防止ゾーン」は揮発性有機化合物（VOC）対策を含めた環境汚染物質排出・移動登録制度（PRTR）対策などの空気汚染対策技術がそろう。

今回、3ゾーンが新設された。「洗浄装置の保全管理ゾーン」には装置の点検や修理、整備に求められる技術が並ぶ。「溶剤リサイクルゾーン」では溶剤ガス回収装置、スクラバー型ガス回収装置などのリサイクルに関する技術、「大学・研究機関ゾーン」では洗浄に関する研究・開発中の技術が紹介される。

ごあいさつ

環境にやさしい高圧洗浄

公益社団法人日本洗浄技能開発協会理事長　本多　清治

公益社団法人日本洗浄技能開発協会（JWA）は地球に豊富に存在し、環境にやさしい「水」の持つ優れたエネルギーを利用した高圧洗浄の活用・普及に取り組んでいます。高圧洗浄は省エネルギー対策として、国・地方自治体の諸設備や発電、鉄鋼、自動車、造船、石油化学など高機能化された設備などの保全に使われています。

JWAは安全で正確な作業を行えるように厚生労働省職業能力開発局のご指導のもと、産業洗浄技能検定試験の実施に参画し、産業洗浄技能士の育成に取り組んでいます。同技能士の活用方法の一環として、「2014洗浄総合展」では洗浄技能・技術が卓越したエキスパートを全国から一堂に集め、「全国高圧洗浄作業技能コンテスト」を洗浄総合展初日に開催します。高圧洗浄作業状況を来場者に見学していただくことで、高圧洗浄に対する認知度向上にもつなげたいと考えています。

また、「水」を工具として使用する高圧洗浄は、労働災害にもつながりやすくJWAは安全教育にも力を入れ、作業者に対し教育を推し進めています。

高圧洗浄は設備に付着した汚れの除去だけでなく、破壊・はく離・切断まで効率的な作業を行うことができ、今後ますます利用範囲が増大するものと確信しています。

ごあいさつ

技術を広める啓発活動を

日本産業洗浄協議会会長　目黒　弘

近年の洗浄業界では環境と技術のバランスが重要なテーマになっています。およそ10年前、オゾン層破壊の原因と言われるクロロフルオロカーボン（CFC）、ハイドロクロロフルオロカーボン（HCFC）の規制が開始されました。温暖化係数が高いハイドロフルオロカーボン（HFC）に対しても規制が始まり、使用には工夫が必要です。労働安全衛生法が強化されクロロカーボンの取り扱いは有機則対象から特化則対象に移行したことで、記録類の保管が30年間とより厳しい内容になりました。多くの企業は〝持続可能な成長〟を目指し、地球に負荷を与える化学品を控える活動を進めています。

一方、環境と技術のバランスに、コストも求められるのが現実です。経済のグローバリゼーションの中、世界の動きにも目を向けなければなりません。

日本ではオゾン破壊物質が禁止になりました。しかし、世界の全ての国が使用禁止になったわけではありません。徐々に禁止する方向に進んでいますが、まだ使用可能な国がアジアの新興国に多く存在します。輸送コストが安価になってきたため海外で洗浄した方が安く済み、コスト面で苦しい戦いになっています。

しかし、今後、新興国の産業がより発展すれば日本の技術が役立ち、なおかつビジネスチャンスにつながる可能性が大いにあります。環境への関心は先進国だけでなく、新興国にとっても大切なことです。技術を確立するだけでなく、その技術を広める啓発活動が大切になっています。

代表取締役社長
内野正英
～創業46年～

洗浄関連の
難問解決
いたします。

洗浄一筋46年、お客様の難問をつぎつぎ解決してきました。
塩素・フッ素系削減、炭化水素系・純水・アルコール類、各種システム 多数ございます。

FIELD ジャパン・フィールド株式会社
本　社　〒352-0011 埼玉県新座市野火止4-19-85　TEL 048-479-7331(代)　FAX 048-477-2288
URL http://www.field.co.jp/　E-mail info@field.co.jp

2014 洗浄総合展
PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2014

出展小間番号【W-056】